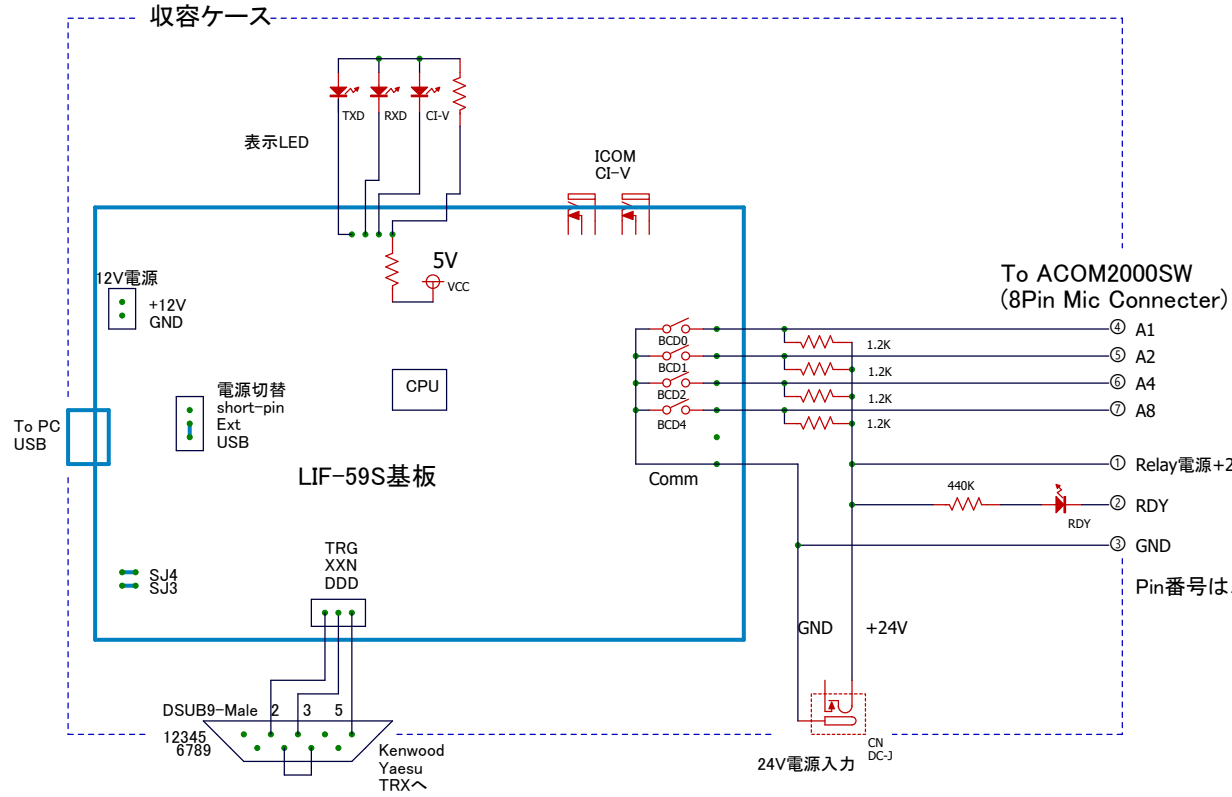


# ACOM2000SW アンテナ自動切替インターフェース 接続図



- 仕様説明
- LED表示  
 TXD: TRXにData要求を送信時に点灯  
 RXD: TRXから応答Data受信時に点灯  
 CI-V: CI-V信号の送受信時に点灯  
 RDY: ACOM2000SWがANT切替した時に応答信号で一瞬点灯
  - LIF-59基板の電源  
 ACOM2000SW用の24V電源は、雷対策のため  
 使わないで、USBの5vで動作させること(電流約40mA)
  - USB  
 USB-serialにLoggingソフト等をバインドして使用できる。  
 これらがCATで送る情報要求のIntervalは0.5~1秒に設定すること
  - TRXとのCAT接続の232Cケーブル  
 DSUB9のストレートケーブル(メス-メス)
  - CI-V端子  
 CATをCI-Vに変換して入出力できるようにしている  
 対応は、VFO-Aの周波数とMode情報  
 接続する機器は、リニアアンプ、SteppiR-SDA100等を想定しています  
 その他
  - 本Versionは、LIF-59の4Bitアンテナ切替出力を4Bit-BCD出力  
 (不論理)に変更した物です。その他は、LIF-59に準じている。  
 4個の動作条件設定用ショートピンもLIF-59に準じている

Pin番号は、ケース内ハンダ面

図名	ACOM2000SW Interface	年月日	2019. 09. 12
図番	ACOM2000SW Ver1.0	作成者	ICT-Kuwa